



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月9日

上場会社名 株式会社ダスキン 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4665 URL <http://www.duskin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊東 英幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西山 精也 TEL 06(6387)3411(大代表)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	47,534	(-)	3,956	(-)	4,340	(-)	2,496	(-)
19年3月期	193,790		13,986		14,944		8,407	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	37	05	—	—
19年3月期	142	87	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第1四半期	197,155	139,154	70.0	2,046	92
19年3月期	205,193	139,763	67.5	2,055	22

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△2,191	△2,196	△3,720	26,774
19年3月期	18,364	△27,769	10,061	34,894

(注)前年第1四半期においては、四半期実績の開示を行っていないため、同四半期の連結経営成績、連結財政状態及び連結キャッシュ・フローの状況については記載しておりません。また、連結経営成績の対前年同四半期増減率についても同様に記載しておりません。

### 2. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	95,500	△1.1	6,500	△17.8	7,100	△19.2	3,400	△31.7	50	45
通期	195,700	1.0	11,800	△15.6	12,300	△17.7	6,100	△27.5	90	52

平成19年5月15日に公表しました中間期の業績予想につきましては、本資料において修正しております。

### 3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注)詳細は、3~4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)における我が国の経済は、引続き好調に推移する企業業績に支えられ、景気は緩やかな拡大傾向にありました。個人消費も底堅く推移しているものの、年金問題や税負担、更には原油価格動向等の先行き懸念もあって、力強さには欠ける状況でありました。

このような状況の中で当社は、当期より取組んでおります中期経営方針「共生と飛躍」の基本方針に従って、事業基盤の整備に全力を挙げる一方、各事業においては地道な営業活動に注力しております。

以上の結果、当第1四半期は、昨年12月にフードサービス事業のミスタードーナツ事業において新たにポイントカード制度を導入したことで本部・加盟店間の取引方法を変更したことにより減収となったものの、愛の店関連事業、ケアサービス事業、その他事業が堅調に推移し、売上高475億34百万円、営業利益39億56百万円、経常利益43億40百万円、四半期純利益24億96百万円となりました。

[事業の種類別セグメント毎の状況]

(1)愛の店関連事業

クリーンサービス事業の家庭市場においては、家庭用玄関マットオーダーメイドタイプが堅調に推移したこと及びアレル物質抑制成分配合の新機能モップの浸透により解約率が低下したものの、売上は伸び悩みました。事業所市場においては、昨年9月に発売した空気清浄機「クリーン空感」が売上に大きく寄与したことにより、堅調に推移しました。その結果、事業全体の売上は順調に推移しました。

ヘルス&ビューティ事業では雑穀米等の健康食品、ボディケア商品の販売に注力し、新規のお客様数が確実に増加しております。

以上の結果、愛の店関連事業全体では、売上高268億13百万円、営業利益52億72百万円となりました。

(2)フードサービス事業

ミスタードーナツ事業は、昨年12月に従来の「ミスドカードキャンペーン」から変更した「ミスドクラブポイントカード」を使った新しいサービスを開始し、お客様から概ね好評を博しております。しかしながら、これにより本部・加盟店間の取引方法を変更し加盟店への景品等の販売を廃止したこと、及びイトイン、中でも飲茶のお客様売上高が減少したことによりロイヤルティ並びに原材料売上が減少したこともあって、事業全体の売上は減少しました。

その他のフードサービス事業は、店舗数の減少を主因として、売上高は低調な結果となりました。

以上の結果、フードサービス事業全体では、売上高128億65百万円、営業利益9億35百万円となりました。

(3)ケアサービス事業

ケアサービス(サービスマスター、メリーメイド、ターミニックス、トゥルグリーン)は、サービスマスターの「エアコンクリーニングサービス」が不調でしたが、メリーメイドの「お掃除おまかせサービス」「家事おてっだいサービス」が好調に推移したこと、直営店の売上が好調であったことにより、堅調に推移しました。

ホームインステッド事業(介護保険適用外の高齢者介護サービス)は、加盟店の増加でサービス体制が拡充されたことにより売上高は堅調に推移しました。また株式会社ダスキンゼロケア(介護保険適用の高齢者介護サービス)は、昨年11月に新設した「目黒本町センター」(小規模多機能型住宅介護サービス)及びその他の各センター(グループホーム、デイサービス)の利用者数が伸長したことにより、売上は順調に推移しました。

株式会社ダスキンヘルスケアで展開している病院施設のマネジメントサービスは、契約先件数の増加により順調に推移しました。

以上の結果、ケアサービス事業全体では、売上高53億25百万円、営業損失1億50百万円となりました。

(4)その他事業

レントオール事業は、イベント用品レンタル等を中心とするレントオール店、介護用品関連のヘルスレント店共にお客様売上は堅調に推移したことにより、ロイヤルティ売上及び商品売上は増加し、店舗統廃合による直営店売上の減少があったものの、事業全体の売上高は順調に推移しました。ユニフォームサービス事業については、クリーニング売上の増加により売上高は順調に推移しました。オフィスコーヒーサービスと水をお届けするドリンクサービス事業は、加盟店数の増加と主力商品販売が好調で、売上高は堅調に推移しました。

また、リース事業を展開しておりますダスキン共益株式会社につきましては、OA機器の保守メンテナンス売上は順調に推移しましたが、原油の市場価格高騰等を背景として販売先が天然ガス等への燃料切替を進めたことを主因として石油部門売上が減少したこと等により売上は伸び悩みました。

以上の結果、その他事業全体では、売上高25億29百万円、営業利益1億1百万円となりました。

なお、上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は1,971億55百万円となりました。前連結会計年度末（以下、前期末）と比較して80億37万円減少しております。主な要因は、短期資金運用の商業ペーパー償還により有価証券が99億88百万円減少したこと、現金及び預金が21億69百万円増加したこと等であります。

負債合計は580億1百万円となり、前期末と比較して74億28百万円減少しております。主な要因は、返済により短期及び長期の借入金が12億18百万円減少したこと及び法人税等の支払により未払法人税等が51億38百万円減少したこと等であります。

純資産合計は1,391億54百万円となり、前期末と比較して6億9百万円減少しております。主な要因は、四半期純利益24億96百万円と剰余金の配当26億95百万円等の差引により利益剰余金が1億98百万円、投資有価証券の評価替によりその他有価証券評価差額金3億28百万円が減少したこと等であります。

また、当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、21億91百万円の資金支出となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を43億30百万円計上したこと、法人税等の支払額が64億10百万円あったこと等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、21億96百万円の資金支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が11億26百万円あったこと及び投資有価証券の取得による支出が3億98百万円あったこと等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは37億20百万円の資金支出となりました。主な要因は、配当金の支払額が24億96百万円あったこと及び短期借入金の増減額が6億円、長期借入金の返済による支出が6億18百万円あったこと等であります。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は、81億19百万円減少し、267億74百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期中間期の営業利益、経常利益、中間純利益につきまして、経費計上時期が従来予想と相違したため、平成19年5月15日に公表しました業績予想を下表の通り変更しております。

(中間期)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想	95,500	5,700	6,100	2,700	40円07銭
今回修正予想	95,500	6,500	7,100	3,400	50円45銭
(ご参考)					
前中間期実績	96,537	7,905	8,789	4,978	456円12銭

(注) 1. 平成18年10月16日付で株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の平成19年3月期中間期の1株当たり中間純利益は、91円22銭であります。

2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【参考：個別】

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想	82,500	4,200	6,200	3,500	51円94銭
今回修正予想	82,500	5,000	7,200	4,200	62円33銭

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等は税効果会計を考慮した年間予測税率をもとに簡便な方法により計算しております。

(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(イ)固定資産の減価償却費の方法

法人税法が改正されたことを受けて、当連結会計年度より、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により減価償却費を計上しております。なお、この変更により、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1百万円減少しております。

(ロ)役員退職引当金

当社は、平成19年4月26日開催の取締役会において、取締役及び監査役の退職慰労金制度を平成19年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって廃止することを決議致しました。この制度廃止に伴い、当該総会において、在任期間に応じた退職慰労金を打ち切り支給することが決議されております。なおこの在任期間に対応する退職慰労金相当額については長期未払金として固定負債に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1 現金及び預金	34,121		31,952	
2 受取手形及び売掛金	12,786		12,671	
3 有価証券	1,994		11,983	
4 たな卸資産	7,533		6,886	
5 繰延税金資産	1,747		2,199	
6 その他	2,722		2,223	
貸倒引当金	△37		△56	
流動資産合計	60,868	30.9	67,861	33.1
II 固定資産				
1 有形固定資産				
(1) 建物及び構築物	18,693		18,861	
(2) 機械装置及び運搬具	7,197		7,373	
(3) 土地	23,931		23,935	
(4) 建設仮勘定	290		364	
(5) その他	6,414		6,560	
有形固定資産合計	56,526	28.7	57,095	27.8
2 無形固定資産	5,143	2.6	5,362	2.6
3 投資その他の資産				
(1) 投資有価証券	56,992		57,340	
(2) 長期貸付金	268		292	
(3) 繰延税金資産	4,428		4,231	
(4) 差入保証金	11,865		12,015	
(5) その他	1,943		2,114	
貸倒引当金	△880		△1,120	
投資その他の資産合計	74,617	37.8	74,874	36.5
固定資産合計	136,287	69.1	137,332	66.9
資産合計	197,155	100.0	205,193	100.0

科目	当第1四半期末 (平成19年6月30日現在)		(参考) 前連結会計年度末 (平成19年3月31日現在)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1 買掛金	7,266		7,975	
2 短期借入金	3,500		4,100	
3 一年以内返済予定の長期借入金	2,710		3,082	
4 未払法人税等	1,168		6,307	
5 賞与引当金	2,005		2,474	
6 役員賞与引当金	—		100	
7 ポイント引当金	1,111		868	
8 未払金	5,688		6,255	
9 レンタル品預り保証金	11,673		11,784	
10 その他	5,704		5,167	
流動負債合計	40,828	20.7	48,114	23.5
II 固定負債				
1 長期借入金	8,132		8,379	
2 退職給付引当金	7,528		7,315	
3 役員退職引当金	33		256	
4 債務保証損失引当金	29		26	
5 長期未払金	164		—	
6 長期預り保証金	938		947	
7 負ののれん	346		390	
固定負債合計	17,172	8.7	17,314	8.4
負債合計	58,001	29.4	65,429	31.9
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金	11,352	5.8	11,352	5.5
2 資本剰余金	13,075	6.6	13,075	6.4
3 利益剰余金	113,456	57.5	113,655	55.4
4 自己株式	△12	△0.0	△11	△0.0
株主資本合計	137,872	69.9	138,073	67.3
II 評価・換算差額等				
1 その他有価証券評価差額金	72	0.0	401	0.2
2 繰延ヘッジ損益	29	0.0	31	0.0
3 為替換算調整勘定	△37	△0.0	△7	△0.0
評価・換算差額等合計	64	0.0	424	0.2
III 少数株主持分	1,216	0.6	1,265	0.6
純資産合計	139,154	70.6	139,763	68.1
負債純資産合計	197,155	100.0	205,193	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	47,534	100.0	193,790	100.0
II 売上原価	26,076	54.9	108,624	56.1
売上総利益	21,457	45.1	85,165	43.9
III 販売費及び一般管理費	17,501	36.8	71,178	36.7
営業利益	3,956	8.3	13,986	7.2
IV 営業外収益	802	1.7	2,665	1.4
1 受取利息	191		590	
2 受取配当金	110		96	
3 設備等賃貸収入	228		734	
4 紹介等手数料収入	57		240	
5 負ののれん償却額	43		173	
6 顧客権譲渡益	12		173	
7 雑収入	158		655	
V 営業外費用	418	0.9	1,707	0.9
1 支払利息	50		309	
2 設備等賃貸費用	95		345	
3 たな卸資産評価損	98		365	
4 製品等廃棄損	7		210	
5 持分法による投資損失	137		17	
6 株式上場費用	—		246	
7 雑損失	29		212	
経常利益	4,340	9.1	14,944	7.7
VI 特別利益	62	0.1	649	0.3
1 固定資産売却益	3		5	
2 投資有価証券売却益	—		23	
3 貸倒引当金戻入益	44		279	
4 持分変動利益	—		34	
5 その他	14		307	
VII 特別損失	72	0.2	528	0.3
1 固定資産売却損	—		5	
2 固定資産廃棄損	27		247	
3 減損損失	—		109	
4 その他	45		165	
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	4,330	9.1	15,065	7.8
法人税等	1,870	3.9	6,641	3.4
少数株主利益又は 少数株主損失 (△)	△36	△0.1	15	0.0
四半期 (当期) 純利益	2,496	5.3	8,407	4.3

(3) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高 (百万円)	11,352	13,075	113,655	△11	138,073	401	31	△7	424	1,265	139,763
第1四半期中の 変動額											
剰余金の配当			△2,695		△2,695						△2,695
四半期純利益			2,496		2,496						2,496
自己株式の取得				△1	△1						△1
株主資本以外の項目の 第1四半期中の 変動額 (純額)						△328	△2	△29	△360	△48	△409
第1四半期中の 変動額合計	—	—	△198	△1	△200	△328	△2	△29	△360	△48	△609
平成19年6月30日 残高 (百万円)	11,352	13,075	113,456	△12	137,872	72	29	△37	64	1,216	139,154

(参考) 前連結会計年度の連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年3月31日 残 高 (百万円)	11,352	5,165	106,935	△15,317	108,136	597	—	△76	520	366	109,023
連結会計年度中の 変動額											
剰余金の配当			△1,603		△1,603						△1,603
役員賞与の支給額			△84		△84						△84
当期純利益			8,407		8,407						8,407
自己株式の取得				△19	△19						△19
自己株式の処分		10,290		12,946	23,236						23,236
自己株式の消却		△2,379		2,379	—						—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動 額 (純額)						△196	31	68	△95	898	803
連結会計年度中の 変動額合計	—	7,910	6,719	15,306	29,936	△196	31	68	△95	898	30,740
平成19年3月31日 残 高 (百万円)	11,352	13,075	113,655	△11	138,073	401	31	△7	424	1,265	139,763

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期 (当期) 純利益	4,330	15,065
2 減価償却費	1,311	5,590
3 のれん償却額	58	233
4 貸倒引当金の増減額 (減少: △)	△41	△237
5 貸倒損失	0	6
6 受取利息及び配当金	△301	△687
7 支払利息	50	309
8 為替差損益 (益: △)	△6	△2
9 持分法による投資損益 (益: △)	137	17
10 持分変動損益 (益: △)	—	△34
11 有形固定資産売却益	△3	△5
12 有形固定資産売却損	—	5
13 有形固定資産除却損	347	449
14 投資有価証券売却益	—	△23
15 投資有価証券評価損	—	0
16 営業譲渡益	—	△173
17 減損損失	—	109
18 売上債権の増減額 (増加: △)	△116	△1,519
19 たな卸資産の増減額 (増加: △)	△645	△1,151
20 仕入債務の増減額 (減少: △)	△709	△295
21 賞与引当金の増減額 (減少: △)	△468	619
22 役員賞与引当金の増減額 (減少: △)	△100	100
23 ポイント引当金の増減額 (減少: △)	243	868
24 退職給付引当金の増減額 (減少: △)	213	582
25 役員退職引当金の増減額 (減少: △)	△223	53
26 債務保証損失引当金の増減額 (減少: △)	3	△25
27 未払消費税等の増減額 (減少: △)	251	△152
28 その他資産の増減額 (増加: △)	△63	494
29 その他負債の増減額 (減少: △)	△314	△2
30 役員賞与の支払額	—	△84
小計	3,952	20,109
31 利息及び配当金の受取額	299	778
32 利息の支払額	△32	△308
33 法人税等の支払額	△6,410	△2,215
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,191	18,364

	当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	(参考) 前連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 定期預金の増減額 (増加: △)	△299	77
2 有形固定資産の取得による支出	△1,126	△8,030
3 有形固定資産の売却による収入	48	104
4 投資有価証券の取得による支出	△398	△24,617
5 投資有価証券の売却による収入	0	29
6 貸付けによる支出	△1	△18
7 貸付金の回収による収入	48	2,408
8 差入保証金の支出	△14	△588
9 差入保証金の回収による収入	89	2,190
10 営業譲受による支出	—	△122
11 営業権譲渡による収入	—	234
12 その他投資による支出	△547	△3,122
13 その他投資の回収による収入	6	3,686
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,196	△27,769
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 短期借入金の増減額 (減少: △)	△600	△600
2 長期借入金の返済による支出	△618	△7,828
3 社債の償還による支出	—	△4,027
4 少数株主からの払込による収入	—	908
5 自己株式の取得による支出	△1	△19
6 自己株式の売却による収入	—	23,236
7 配当金の支払額	△2,496	△1,603
8 少数株主への配当金の支払額	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,720	10,061
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	85
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少: △)	△8,119	742
VI 現金及び現金同等物の期首残高	34,894	34,151
VII 現金及び現金同等物の四半期 (期末) 残高	26,774	34,894

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第1四半期(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

	愛の店関連 事業 (百万円)	フードサー ビス事業 (百万円)	ケアサー ビス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	26,813	12,865	5,325	2,529	47,534	—	47,534
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	0	22	823	850	(850)	—
計	26,817	12,865	5,347	3,353	48,384	(850)	47,534
営業費用	21,544	11,930	5,498	3,252	42,225	1,352	43,577
営業利益 (又は営業損失)	5,272	935	△150	101	6,158	(2,202)	3,956

(参考) 前連結会計年度(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

	愛の店関連 事業 (百万円)	フードサー ビス事業 (百万円)	ケアサー ビス事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	107,459	55,331	20,678	10,321	193,790	—	193,790
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	0	47	3,303	3,382	(3,382)	—
計	107,490	55,331	20,726	13,624	197,173	(3,382)	193,790
営業費用	87,623	52,228	20,724	13,396	173,972	5,830	179,803
営業利益	19,866	3,103	1	228	23,200	(9,213)	13,986

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっております。

2. 各事業の主要な内容

- (1) 愛の店関連事業……………清掃用資器材の賃貸、日用品・化粧品の販売、キャビネットタオルの賃貸、トイレタリー商品の販売、産業用ウエスの賃貸、浄水器・空気清浄機の賃貸等
- (2) フードサービス事業……………ドーナツ・ベニエ・オープン商品・飲茶並びに料理飲食物の販売、ピザの宅配サービス等
- (3) ケアサービス事業……………ハウスクリーニングサービス、家事代行サービス、害虫駆除・予防サービス、樹木・芝生管理サービス、工場・事務所施設管理サービス、介助サービス、病院のマネジメントサービス、介護保険法による介護サービス等
- (4) その他事業……………旅行用品・ベビー用品・レジャー用品・健康及び介護用品等の賃貸並びに販売、ユニフォームの賃貸、オフィスコーヒー等の販売、事務用機器及び車輛のリース、保険代理業等

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、当第1四半期 1,973百万円、前連結会計年度 8,295百万円であり、その主なものは、当社の本社管理部門に係る費用であります。